

### 第3回 宿毛市庁舎建設審議会（会議内容まとめ）

（文中敬称略）

1. 日 時 平成30年8月1日（水）13時～14時10分
2. 場 所 宿毛市役所3階 委員会室
3. 内 容 小深浦高台へのアクセス道についてほか、審議会としての答申の方向性の確認について、今後の審議会の日程確認について
4. 委 員

（1）委員 （◎会長 ○副会長）

氏 名	所 属 等	出 欠
◎原 忠	高知大学 教授（専門分野：地盤耐震工学）	出席
○立田 雅弘	宿毛商工会議所 会頭	出席
伊賀 達也	中村河川国道事務所 事務所長	出席
大塚 勉	社会福祉法人 宿毛市社会福祉協議会 会長	出席
岡村 好知	宿毛市地区長連合会 会長	出席
坂本 淳	高知大学 講師（専門分野：都市・交通計画学）	出席
成田 江里	公益社団法人 宿毛青年会議所 理事長	出席
橋詰 淳	高知県危機管理部 地域防災企画監	欠席
山下 雄介	株式会社四国銀行 宿毛支店 支店長	出席

（2）事務局及び関係課

副市長	岩本 昌彦
総務課長	河原 敏郎
企画課長	黒田 厚
危機管理課長	岩本 敬二
都市建設課長	小島 裕史
総務課長補佐	長山 敏昭
危機管理課長補佐	大串 一生

#### 5. 配布資料

- 資料1 小深浦高台へのアクセス道路（整備計画位置図）
- 資料2 計画平面図（案）
- 資料3 計画断面図（案）
- 資料4 小深浦高台想定スケジュール（案）※当日回収資料
- 資料5 職員分布図

## 6. 議 事

(会長挨拶)

会長あいさつ。

(事務局より配布資料の説明及び質疑応答)

事務局より資料の説明後、質疑応答。

(質疑) 小深浦高台へのアクセス道について

- ① 7月豪雨での小深浦高台周辺の冠水について
- ② アクセス道の整備による職員の参集状況について
- ③ L1・L2クラス地震発災後、長期浸水した時の職員参集対策について
- ④ 小深浦高台に直結したアクセス道の整備について
- ⑤ アクセス道に対する宿毛市から高知県への要望について
- ⑥ 内水対策について

(応答)

- ① 冠水による通行止めあり。浸水の高さについては現在調査中。
- ② アクセス道の整備により職員参集率は11%→74%の参集率にアップする。
- ③ 高規格道路「宿毛～内海」のルート選定や高知県による海岸堤防工事の進捗状況などを見ながら参集ルートの設定を検討していく。
- ④ 現状の計画にはないが、都市計画の手法を踏まえる中で、ご提案いただいた内容については検討していく。
- ⑤ アクセス道対策については積極的に要望を含め取り組んでいく。
- ⑥ 県の河川改修にあわせた内水対策として錦口のポンプ設置を具体的に検討している状況。

(質疑) その他

- ① 支所機能など市民サービス機能の維持について
- ② 小深浦高台の地質調査について
- ③ 保育園や給食センターなど公共施設の整備場所について
- ④ 庁舎が移転する際の地域防災計画の見直しについて

(応答)

- ① 利便性という観点からも支所的な機能は有力な選択肢の一つであると考えている。
- ② 既に数箇所にて地質調査は実施済み。
- ③ 浸水エリアにある公共施設については出来る限り早期に高台へ移転したいと考えている。
- ④ 庁舎が移転する際には根本的な地域防災計画の見直しを行うとともに業務継続計画についても改定を行っていく。

(審議会としての答申の方向性の確認について)

**【審議会答申の方向性】**

全員一致で市役所新庁舎の建設地として、「小深浦高台」を決議する

**【付帯事項】**

- 津波・地震対策として庁舎はL2対応とすること
- 斜面災害対策を検討すること
- 現在地における一定の市民サービス機能の維持に努めること
- 津波浸水時の庁舎へのアクセスを確保するための対策を検討すること
- 都市計画マスタープラン及び地域防災計画を改訂すること
- まちの賑わい・まちづくりについても引き続き検討すること
- コストについても十分に検討すること
- 地震・津波対策に対しては、新しい知見が得られた時点で速やかに対応すること

(今後の審議会の日程確認について)

第4回目は8/23(木) 14:00～

場所については宿毛市役所3階 委員会室